

宮城

MIYAGI

地域の皆様と歩む防災活動 ～備えあれば憂いなし～

セイコーインスツル株式会社仙台事業所 ME 管理部 ME 総務 G 課長 八代 一輝

1998年6月、当事業所は太白区西多賀から現在の青葉区上愛子、松原工業団地に移転して参りました。仙台事業所では、クォーツ時計に組み込まれているボタン形電池、その応用製品である2次電池、磁石応用製品、高機能金属製品など、各種部品の生産を行っており、陰ながら皆様の生活のお役に立てるよう地道に努力を積み重ねてきた次第です。また、その事業活動の安定化を図るべく防災活動にも力を入れて参りました。

令和に入り、新型コロナウイルス感染症に対する対策を講じながら、様々な事象に臨むことが求められる社会情勢となっている昨今、当社はそのような状況の中においても次のような防災に関する取組みを行っています。

- ・ 3密を回避した形での防災訓練(昼間、夜間)
- ・ 危険物漏洩を想定した使用部門単位での緊急時対応訓練
- ・ 危険物取扱者の計画的な資格取得と保安講習受講
- ・ 防災協会提供のポスター掲示による防災啓蒙活動

他に防災の取り組みとして、11月10日に公益社団法人仙台市防災安全協会宮城地区の事業として開催された「宮城地区防火・防災オリンピック2022」に参加しました。

当該事業は、幼年消防クラブである大沢幼稚園、宮城地区婦人防火クラブ、仙台市防災安全協会宮城地区事業所と宮城消防署が一堂に会し、普段は活動を個々に実施しているところ、各々の組織での防災に関する活動を互いに知ることにより、さらなる防火意識の向上を図ることを目的として開催されたものでした。

様々な防災に関する取り組みを様々な組織が実施していることをお互いに認識するということは、防災に関する事柄に関心を向ける機会が自然に多くなることが期待されるものです。そのような情報に触れる機会が多くなることは、

防災に関する知見の積み重ねにつながり、いざというときの行動に違いがあらわれるのではないのでしょうか。

有事の際の対応力は、普段からの備えが必要であることは周知の事実ですが、備えを怠ることなく継続することの大切さを意識し、さらなる防災力の向上を目指していきたいと思っております。



開会式



屋内消火栓による放水研修



参加者写真